

旅行業法及びこれに基づく命令

第1問 以下の問1.～問25.の各設問について該当するものを、それぞれの選択肢から選びなさい。

(配点 4点×25)

問1. 次の(ア)～(エ)の記述から、法第1条(目的)に定められているものをすべて選びなさい。

- (ア) 旅行業等を営む者の適正な利潤の確保
- (イ) 旅行業務に関する取引の公正の維持
- (ウ) 旅行の安全の確保
- (エ) 旅行業等を営む者を通じた国際親善と文化交流の促進

- a .(ア)(イ) b .(ア)(ウ) c .(イ)(ウ) d .(イ)(ウ)(エ)

問2. 次の行為を報酬を得て事業として行う場合に、旅行業の登録を受けなければならないものはどれか。

- a . バス会社が自ら所有するバスと他人の経営する宿泊施設を利用して、旅行者に対して運送及び宿泊に関するサービスを提供する行為
- b . 旅行業者等から依頼を受けて、査証の取得の手続を代行する行為
- c . 観戦チケットや劇場及び博覧会などの入場券のみを販売する行為
- d . ガソリンスタンドを経営する者が、航空会社と代理店契約を締結し、当該航空会社の航空券のみをその店舗で販売する行為

問3. 次の(ア)～(エ)の記述から、登録の拒否事由に該当するものをすべて選びなさい。

- (ア) 法人であって、その役員のうち破産者で復権を得ない者があるもの
- (イ) 法人であって、その代表取締役が4年前に公職選挙法に違反して禁錮2年の刑に処せられたもの
- (ウ) 登録業務範囲が第1種旅行業務である旅行業を営もうとする者で、その基準資産額が700万円であるもの
- (エ) 登録申請前5年以内に旅行業務に関し不正な行為をした者

- a .(ア)(イ)(ウ) b .(ア)(ウ)(エ) c .(イ)(エ) d .(ア)(イ)(ウ)(エ)

問4．登録に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a．旅行業者代理業の新規登録の申請をしようとする者は、その主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に申請をしなければならない。
- b．旅行業者等が法人である場合にあって、その代表者の氏名が変更になったときは、登録行政庁に変更登録の申請を行わなければならない。
- c．平成14年10月6日に登録の有効期間が満了となる旅行業者に対して、同年10月13日に有効期間の更新の登録がなされた場合、その登録の有効期間の満了の日は平成19年10月12日である。
- d．第2種旅行業者がその登録業務範囲を第1種旅行業に変更しようとするときは、その主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に変更登録の申請をしなければならない。

問5．次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a．第1種旅行業者であっても、本邦内の旅行のみについて旅行業務を取り扱う営業所においては、国内旅行業務取扱主任者試験に合格した者を旅行業務取扱主任者に選任することができる。
- b．第2種旅行業者を所属旅行業者とする旅行業者代理業者は、いかなる場合も旅行者との間で本邦外の主催旅行契約を締結することはできない。
- c．第3種旅行業者は、本邦外の旅行について取り扱うことができない。
- d．旅行業者代理業者は、報酬を得て、旅行に関する相談に応ずる行為を事業として行うことができる。

問6．営業保証金に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a．第2種旅行業の登録を受けた者の営業保証金の最低額は250万円と定められている。
- b．旅行業者は、登録の通知を受けて営業保証金を供託すれば直ちにその事業を開始することができる。
- c．営業保証金の額は、旅行業者及び当該旅行業者を所属旅行業者とする旅行業者代理業者のそれぞれの営業所数に基づき算出される。
- d．旅行業者は、毎事業年度終了後において、その供託している営業保証金の額が不足することとなるときは、その不足額を毎事業年度終了の日の翌日から100日以内に追加して供託し、その旨を登録行政庁に届け出なければならない。

問7．次の(ア)～(エ)の記述から、旅行業務取扱主任者が管理及び監督しなければならない事務(職務)として定められているものをすべて選びなさい。

(ア) 広告の実施

(イ) 旅行に関する苦情の処理

(ウ) 標識を旅行者に見やすいように掲示又は閲覧することができるように備え置くこと

(エ) 法第12条の4の規定による取引条件の説明

- a．(ア)(イ)(ウ) b．(ア)(イ)(エ) c．(ア)(ウ)(エ) d．(イ)(ウ)(エ)

問 8 . 旅行業務取扱主任者に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a . 旅行業者等は、その営業所の旅行業務取扱主任者として選任した者のすべてが欠けるに至ったときは、新たに旅行業務取扱主任者を選任するまでの間は、その営業所において一切の旅行業務を行ってはならない。
- b . 旅行業者等は、成年被後見人である者を旅行業務取扱主任者として選任することはできない。
- c . 旅行業者等は、旅行業務を取り扱う者が 1 人である営業所においても、旅行業務取扱主任者を選任しなければならない。
- d . 旅行業務取扱主任者は、他の営業所の旅行業務取扱主任者となることができない。

問 9 . 旅行業務の取扱いの料金（主催旅行に係るものを除く。）に関する次の（ア）～（ウ）の記述から、誤っているものをすべて選びなさい。

- （ア）旅行業者は、事業の開始前に、旅行者から收受する旅行業務の取扱いの料金を定め、登録行政庁に届け出なければならない。
- （イ）旅行業務の取扱いの料金は、契約の種類及び内容に応じて定率、定額その他の方法により定められ、旅行者にとって明確なものでなければならない。
- （ウ）旅行業者代理業者は、その営業所において、自らが定めた旅行業務の取扱いの料金を旅行者に見やすいように掲示しなければならない。

- a .（ア）（イ） b .（ア）（ウ） c .（イ）（ウ） d .（ア）（イ）（ウ）

問 10 . 旅行業約款に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a . 旅行業協会の保証社員である旅行業者は、旅行業約款に記載されている弁済業務保証金からの弁済限度額を変更しようとする場合、登録行政庁の認可を受けなければならない。
- b . 旅行業者が、国土交通大臣が定めて公示した標準旅行業約款と同一の旅行業約款を定めた場合は、その約款は認可を受けたものとみなされる。
- c . 他の旅行業者を代理して主催旅行契約を締結する場合、旅行業者はその営業所において、当該他の旅行業者が定めた旅行業約款を旅行者に見やすいように掲示し、又は旅行者が閲覧することができるように備え置かなければならない。
- d . 旅行業者が、現に定めている旅行業約款の契約の変更及び解除に関する事項を変更しようとする場合、登録行政庁の認可を受けなければならない。

問 11 . 取引条件の説明に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a . 旅行業者等が対価と引換えに、旅行者と契約しようとする旅行に関するサービスの提供を受ける権利を表示した書面を交付する場合であっても、取引条件について説明した書面を交付しなければならない。
- b . 旅行業者等は、旅行業務に関し旅行者と契約を締結しようとするときは、旅行者が依頼しようとする旅行業務の内容を確認した上、国土交通省令で定めるところにより、その取引の条件について旅行者に説明しなければならない。
- c . 旅行業者等は、主催旅行契約を締結しようとする場合にあっては、旅行者の依頼があれば当該契約に係る旅行業務取扱主任者が最終的には説明を行う旨を書面に記載しなければならない。
- d . 旅行業者は、旅行に関する相談に応ずる行為に係る旅行業務について契約を締結しようとする場合は、旅行者が旅行業者に支払うべき対価及びその收受方法について書面に記載しなければならない。

問 12 . 法第 12 条の 5（書面の交付）に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a . 主催旅行契約以外の旅行業務に関する契約を締結した場合で国土交通省令で定める事項を記載した書面を交付するときは、当該書面には、旅行業務の取扱いの料金に関する事項を記載しなければならない。
- b . 旅行に関する相談に応ずる行為に係る旅行業務について旅行者と契約を締結した場合は、書面の交付は要しない。
- c . 旅行者に交付する国土交通省令で定める事項を記載した書面には、契約の申込方法及び契約の成立に関する事項を記載しなければならない。
- d . 旅程管理業務を行う者が同行しない主催旅行について旅行者と契約を締結したときは、旅行業者は、旅行地における主催者との連絡方法について記載した書面を旅行者に交付しなければならない。

問 13 . 外務員に関する次の（ア）～（エ）の記述から、正しいものをすべて選びなさい。

- （ア）旅行業者等は、その役員又は使用人のうち、その営業所以外の場所でその旅行業者等のために旅行業務について取引を行う者に、外務員の証明書を携帯させなければ、その者を外務員としての業務に従事させてはならない。
- （イ）外務員は、旅行者から請求があった場合においてのみ、外務員の証明書を提示すればよい。
- （ウ）外務員は、旅行者が悪意であったときも、その所属する旅行業者等に代わって、旅行者との旅行業務に関する取引についての一切の裁判外の行為を行う権限を有するものとみなされる。
- （エ）旅行業者代理業者の役員又は使用人に対する外務員証は、当該所属旅行業者が発行しなければならない。

- a . （ア）（イ） b . （ア）（ウ） c . （ア）（エ） d . （ア）

問 14 . 主催旅行に参加する旅行者を募集するための広告に関する次の(ア)～(ウ)の記述から、正しいものをすべて選びなさい。

(ア) 旅行者が旅行業者等に支払うべき対価が当該主催旅行の出発日より異なる場合において、その最低額を表示するときは、併せてその最高額を表示しなければならない。

(イ) 主催旅行に参加する旅行者を募集するための広告は、第1種旅行業者及び第2種旅行業者だけが行うことができる。

(ウ) 主催者以外の者の氏名又は名称を表示する場合にあっては、文字の大きさ等に留意して、主催者の氏名又は名称の明確性を確保しなければならない。

- a .(ア)(イ) b .(ア)(ウ) c .(イ)(ウ) d .(ア)(イ)(ウ)

問 15 . 次の記述のうち、主催旅行の募集広告の表示事項として定められていないものはどれか。

- a . 旅行の目的地及び日程に関する事項
- b . 旅行中の損害の補償に関する事項
- c . 旅行者が旅行業者等に支払うべき対価に関する事項
- d . 旅行者が提供を受けることができる運送、宿泊又は食事のサービスの内容に関する事項

問 16 . 誇大広告の禁止に関する次の(ア)～(ウ)の記述から、誤っているものをすべて選びなさい。

(ア) 誇大広告の禁止の規定は、主催旅行に参加する旅行者を募集する広告のみに適用される。

(イ) 旅行業者等は、旅行地の景観、環境その他の状況に関する事項について誇大表示をしてはならない。

(ウ) 旅行業者等は、旅行に関するサービスの内容について、著しく事実に相違する表示をしてはならない。

- a .(ア) b .(ア)(イ) c .(イ)(ウ) d .(ウ)

問 17 . 標識に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

a . 旅行業者代理業者は、標識に所属旅行業者の登録番号及び氏名又は名称を記載しなければならない。

b . 旅行業者等以外の者は、国土交通省令で定める様式の標識又はこれに類似する標識を掲示してはならない。

c . 旅行業者は、自らが主催する旅行に関し、受託契約を締結している受託旅行業者の氏名又は名称を標識に記載しなければならない。

d . 旅行業者等は、その営業所において、標識を公衆に見やすいように掲示しなければならない。

問 18 . 旅程管理のための措置に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a . 旅行業者は、本邦外の旅行であって、契約の締結の前に旅行者に旅程管理のための措置を講じない旨を説明した場合は、旅行地において旅行に関する計画に定めるサービスの提供を受けるために必要な手続の実施その他の措置を講じなくてもよい。
- b . 旅行業者は、旅行に関する計画における 2 人以上の旅行者が同一の日程により行動することを要する区間における円滑な旅行の実施を確保するために必要な集合時刻、集合場所その他の事項に関する指示は、必ず旅程管理業務を行う主任の者を同行させて行わせなければならない。
- c . 旅行業者は、旅行に関する計画に定めるサービスの旅行者への確実な提供を確保するために、旅行の開始前に必要な予約その他の措置を講じなければならない。
- d . 旅行業者は、本邦内の旅行において旅行に関する計画に定めるサービスの内容の変更を必要とする事由が生じたときは、いかなる場合も代替サービスの手配及び当該サービスの提供を受けるために必要な手続の実施その他の措置を講じなければならない。

問 19 . 禁止行為に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a . 旅行業者等は、その営業所において掲示した旅行業務の取扱いの料金を超えて料金を収受することはできないが、あらかじめ書面にて旅行者に通知をすれば、その限りではない。
- b . 旅行業者等又はその代理人、使用人その他の従業者は、その取り扱う旅行業務に関連して、旅行者に対し、旅行地において施行されている法令に違反する行為を行うことをあつ旋し、又はその行為を行うことに関し便宜を供与してはならない。
- c . 旅行業者等は、旅行業務に関し取引をする者に対し、その取引に関する重要な事項について、故意に事実を告げず、又は不実のことを告げる行為をしてはならない。
- d . 旅行業者等は、旅行業務に関し取引をした者に対し、その取引によって生じた債務の履行を不当に遅延する行為をしてはならない。

問 20 . 主催旅行を実施する旅行業者の代理（受託契約）に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a . 第 3 種旅行業者は、第 2 種旅行業者の受託旅行業者となることができる。
- b . 第 2 種旅行業者は、第 3 種旅行業者の受託旅行業者となることができる。
- c . 第 1 種旅行業者は、第 2 種旅行業者の受託旅行業者となることができる。
- d . 旅行業者代理業者は、所属旅行業者以外の主催旅行を実施する旅行業者と直接受託契約を締結することはできない。

問 21 . 旅行業者代理業者に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a . 旅行業者代理業者は、その営業所において、所属旅行業者を誤認させるような表示をしてはならない。
- b . 旅行業者代理業者には、営業保証金の供託義務はない。
- c . 旅行業者代理業者は、旅行業務に関し取引をしようとするときは、所属旅行業者の氏名又は名称及び旅行業者代理業者である旨を取引の相手方に明示しなければならない。
- d . 旅行業者代理業者の登録の有効期間は、登録の日から起算して5年である。

問 22 . 次の(ア)～(ウ)の記述から、登録行政庁が、旅行業者等に対し、業務改善の措置として命令できるものをすべて選びなさい。

- (ア) 旅行業務取扱主任者を解任すること。
- (イ) 旅行業務の取扱いの料金又は主催旅行に関し旅行者から収受する対価を変更すること。
- (ウ) 旅行者に生じた損害を賠償するために必要な金額を担保することができる保険契約を締結すること。

- a .(ア)(イ) b .(ア)(ウ) c .(イ)(ウ) d .(ア)(イ)(ウ)

問 23 . 次の(ア)～(エ)の記述から、適正かつ確実に実施しなければならない旅行業協会の業務について正しいものをすべて選びなさい。

- (ア) 一定の課程を定め、旅行業務取扱主任者の職務に関し必要な知識及び能力についての研修その他旅行業者等の従業者に対する旅行業務の取扱いについての研修の実施
- (イ) 旅行業務の適切な運営を確保するための旅行業者等に対する指導
- (ウ) 旅行業務に関する取引の公正の確保又は旅行業及び旅行業者代理業者の健全な発達を図るための調査、研究及び広報
- (エ) 旅行業務に関し社員である旅行業者又は当該旅行業者を所属旅行業者とする旅行業者代理業者と取引をした者に対しその取引によって生じた債権に関し弁済をする業務

- a .(ア)(イ)(ウ) b .(イ)(ウ)(エ) c .(ア)(イ)(エ) d .(ア)(イ)(ウ)(エ)

問 24 . 旅行業協会が行う苦情の解決に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- a . 旅行業協会は、社員以外の旅行業者等が取り扱った旅行業務に関する苦情について、解決の申出があったときは、その相談に応じなければならない。
- b . 社員は、旅行業協会から旅行業務に関する苦情について資料の提出を求められたときは、正当な理由がないのに、これを拒んではならない。
- c . 旅行業協会は、旅行業務に関する苦情の解決についての申出、当該苦情に係わる事情及びその解決の結果について、社員に周知させなければならない。
- d . 運送又は宿泊のサービスを提供する者からの申出については、旅行業協会は、社員が取り扱った旅行業務に関する苦情に限り、その相談に応じなければならない。

問 25 . 保証社員に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a . 旅行者は、保証社員となったときは、供託した営業保証金を直ちに取りもどすことができる。
- b . 旅行業協会から還付額に相当する還付充当金を納付するよう通知を受けた保証社員が、当該通知を受けた日から7日以内に納付しないときは、旅行業協会の社員の地位を失う。
- c . 保証社員は、その標識において、当該保証社員に係る弁済業務保証金からの弁済限度額を明示しておかなければならない。
- d . 保証社員と旅行業務に関し取引をした旅行者以外の者は、旅行者に先立ちその債権の弁済を受ける権利を有する。